

奥羽大学報



歯学部父兄会「地域会」(東京)

目次

献体者合同慰霊式／平成18年度科学研究費補助金 …	2
平成18年度第1回歯学部教員研修会／抗ガン剤の取り扱いに関する安全対策セミナー …	3
福島県高等教育協議会／地域歯科保健医研修機関認定／ (歯)4年生 CBL 演習について／(薬)早期体験学習 …	4
国際学会 …	5
第41回奥羽大学歯学会／奥羽大学文学会第48回発表会 …	6
歯学部父兄会「地域会」／交通安全講習会／(文)就職「HONKI」セミナー …	7
(文)東北地区私立大学就職セミナー／(歯)臨床研修マッチング説明会／(薬)キャリアガイダンス …	8
学友会活動記録 …	9
学長杯球技大会 …	11
小・中学生本学施設訪問／大学院特別セミナー …	12
附属病院／夜間・休日の電話対応 …	13
藍綬褒章受章／私が薦める一冊の本 …	14
余滴 …	15
同窓会／同窓生のひろば …	16
キャンパス見学会／第15回奥羽大学公開講座 …	18
平成18年度後期進学相談会日程／人事／慶弔 …	19
行事予定 …	20
平成18年度前期定期試験日程 (歯・文・薬) …	別刷

献体者合同慰霊式

平成18年度の「奥羽大学献体者合同慰霊式」は、6月5日(月) 午後1時より郡山市片平町の霊鷲山常居寺において厳粛に執り行われた。

式にはご遺族、白菊会会員ならびにご来賓の方々のご臨席を賜り、本学からは清水秋雄学長をはじめ、教職員および本年度系統解剖学受講の第2学年全員が参列した。

はじめに、昭和47年開学以来歯科医学の教育研究のために尊い献体をされた1,327柱の御霊に対し霊鐘ならびに黙祷を捧げ、お導師様の読経のなか、平成17年度成願者23柱のご尊名が拝唱され霊礼納塔の儀が行われた。

引き続き、清水秋雄学長が式辞を述べ、学生代表の新井泰幸君の追悼のことばに続き、天野義和歯学部長、学生の石川昌宏君、入江亜希さんによって献花が行われ、ご献体なされた御霊ならびにご遺族に感謝し、ご冥福を心からお祈りした。最後に、参列された方々の焼香が行われ、慰霊式を滞りなく終えた。

慰霊式終了後、常居寺本堂において献体者のご冥福をお祈り申し上げながら、追善供養が行われた。



平成18年度科学研究費補助金

平成18年度科学研究費補助金の交付が決定した。採択者は下表の通りである。昨年の秋に本学から85件の申請を行い、今回は16件25,600,000円が交付された。うち、継続研究が9件、新規採択は7件であり、今年度から本学に転入した教員2名（薬学部）もこの数に含まれる。

平成17年度の実績を見ると、70件の申請で12件の採択があり、交付金額は、16,700,000円であった。今年度と前年度を比較すると申請数は15件、採択数は4件それぞれ増加し、交付金額に関しては8,900,000円上回る結果となった。

来年度もさらに申請数を向上させ、採択率のアップに教職員ともに全力で取り組みたい。また、今年度から公募の始まった若手研究（スタートアップ）に新規で22名の若手研究者（歯学部7名、薬学部15名）が5月に申請を行っており現在結果待ちである。

(単位：円)

研究科目	研究代表者		交付額
	所 属： 職	氏名	
萌芽研究	薬学部：教 授	上野 明道	2,600,000
	〃：助教授	山本 正雅	1,000,000
若手研究B	歯学部：講 師	岡田 英俊	1,000,000
	〃：講 師	金 秀樹	700,000
	〃：助 手	前田 豊信	1,500,000
	〃：助 手	松沼 礼子	2,100,000
基盤研究C	歯学部：教 授	鈴木 陽典	200,000
	〃：教 授	横瀬 敏志	1,700,000
	〃：教 授	堀内 登	2,200,000
	〃：教 授	清浦 有祐	2,600,000
	〃：教 授	浜田 節男	2,100,000
	〃：助教授	瀬川 洋	500,000
	〃：講 師	川根 徹也	1,200,000
	薬学部：教 授	石幡 明	1,100,000
	〃：教 授	米原 典史	2,800,000
	〃：助教授	柏木 良友	2,300,000

平成18年度第1回歯学部教員研修会

7月10日(月)に標記研修会が病院棟5階臨床講義室において、日本大学松戸歯学部教授の安孫子宣光先生を講師としてお招きし、「チュートリアル教育－日本大学松戸歯学部の取り組みとアジアの歯科教育－」のタイトルで開催された。

安孫子先生は、数年前から香港大学歯学部におけるPBL教育の外部評価委員を兼任され、話題は香港大学で実施しているPBLの目標、システム概要等の紹介から始まった。最重要目標は、医療従事者として不可欠な能力を持つために、臨症的な状況分析を系統的アプローチによって展開し、自己および協力者の機能を発展させ、より良いチームアプローチを構築させることにあった。これらを実施するためのシナリオに基づくモジュールが紹介され、1週間単位のシナリオ作成、各種試験(口頭試問、筆記試験)の実施、採点結果の外部評価依頼など進級判定までの教員側の実情が詳細に説明された。

PBL教育のホットな現状を認識できたこと、Q & Aでは歯学教育をグローバルに見つめ直す数多くの話題提供をいただいたことで、今後の学生教育の活性化に繋がる貴重な研修会となった。

(福井 和徳)



**抗ガン剤の取り扱いに関する
安全対策セミナー**

今回の講演は、病院薬剤師の先生方に対する本学の生涯教育の一環として、6月14日(水)に本学第2講義棟で開催されました。

最初に清水秋雄学長から挨拶をいただき、続いて福島県病院薬剤師会副会長の井上正広先生のご挨拶後、講演に移りました。講演には学内31人、学外45人、福島県外6人の合計82人が参加しました。講師のDr. Luci A. Power先生は、米国カリフォルニア大学メディカルセンターの薬剤部長として活躍されており、またNational Institute for Occupational Safety and Health (NIOSH)の「抗ガン剤取り扱いガイドライン」の作成委員のメンバーでもあります。講演でLuci A. Power先生は、抗ガン剤の調製時のケミカルハザードおよびその防衛についてお話しになりました。

日本における抗ガン剤の調製に薬剤師が関与している施設が増えておりますが、抗ガン剤の調製時のケミカルハザードについてはアメリカほど注意が払われていない現状にあります。この問題に対し、日本病院薬剤師会第3小委員会(委員長:鍋島俊隆名古屋大学医学部附属病院薬剤部長)は、NIOSHのガイドラインを参考に日本の現状に沿うようなガイドライン作成に着手しました。今回の講演は、抗ガン剤の調製時のケミカルハザードについて病院薬剤師がさらなる関心を持つことを期待して、日本病院薬剤師会第3小委員会が企画しました。本学での今回の運営にあたり、実務家教員ならび事務系職員の協力に感謝申し上げます。

(東海林 徹)

福島県高等教育協議会

福島県高等教育協議会総会および実務担当者会議が6月21日(水) 福島市において開催され、本学から永井正博薬学部長、設楽教務課長が出席した。協議会では主に大学間連携、高大連携、地域連携について各大学の取組み事例紹介と今後の活動について活発な意見交換がなされた。

また、福島県内における産官民学による地域連携促進のため、高等教育協議会の下部的な組織として「福島県高等教育協議会地域連携ネットワーク」が本年4月に設置され、6月20日(火) に開催された同ネットワーク会議に歯学部浜田節男教授が出席した。

本学では協議会およびネットワークの活動を通じて、今後更に大学間連携、高大連携および産官民学地域連携に寄与していきたい。
〈福島県高等教育協議会ホームページアドレス〉
<http://www.fukushima-u.ac.jp/koutou/>

地域歯科保健医研修機関認定

日本口腔衛生学会では、平成13年度より認定医制度を発足させ、口腔衛生学および予防歯科学の専門的知識と技能および経験を有する歯科医師の育成に努めている。平成16年度より指導医制度の適用を開始し、現在、全国で32名の指導医が誕生している。指導医制度の運用に伴い、認定医研修機関の認定が行われることとなった。認定医研修機関として認められるためには、指導医が常勤し、認定医の資格条件を満たすために必要な指導を行えることが条件となる。

この度、日本口腔衛生学会指導医制度規則第18条2項による資格審査の結果、認定研修機関第19号として、平成18年4月25日～平成23年12月31日まで認定された。今後、地域住民の健康づくりと歯科保健の向上にむけた保健計画の立案・実施・評価・改善に関する支援・指導ができる認定医の指導と育成をはかっていきたいと考えている。

(瀬川 洋)

(歯) 4年生 CBL について

CBT (Computer Based Testing) 方式の試験や自己学習を可能とする教育支援システムが歯学部を導入されたのを機に、4年生を対象としたCBL (Computer Based Learning) が5月20日(土) より開始されました。コンピュータ画面に現れる設問に対して、マウスを操作しながら次々と解答していく試験スタイルで、正確な知識と速やかな判断力が試されます。歯学教育モデル・コア・カリキュラムを基盤とした領域を総合的に学習していく予定で、学生たちは新年度の院内生を目指して必死に取り組んでいます。

(宗形 芳英)

(薬) 早期体験学習

平成18年度に6年制学生212人が本学に入学しました。6年制教育では、基礎学問に裏付けられた臨床経験が求められ、それが体験・参加型の実務実習であります。その一環として、薬学教育に対する学生のモチベーションを高めるために早期体験学習を実施いたしました。1年次学生を3グループに分け、本学歯学部附属病院、福島県薬剤師会および病院薬剤師会郡山支部のご協力のもとに郡山市近隣の病院薬局、保険調剤薬局を体験させることができました。本学歯学部附属病院の見学では、病院の機構および薬局と他部署との係わりについて、病院薬局、保険調剤薬局の見学では、それぞれにおける薬剤師の役割について体験させることを目的としました。

今回、受け入れ先の病院薬局13施設、保険調剤薬局33施設の先生方にはご迷惑をおかけしましたが、学生は「将来の動機付けになった」、「薬剤師の先生から直接お話を聴いたことが良かった」など、大変有意義な体験となったと感想を述べておりました。受入施設の先生方に心から御礼申し上げます。

(東海林 徹)

国際学会

第84回国際歯科学術研究会

6月28日(水)から7月1日(土)の4日間、オーストラリアのブリスベンで2006 IADR (International Association for Dental Research) が開催されました。

会場はブリスベン川の畔に建てられたコンベンションセンターで、郡山のビッグパレットの1.5倍はあると思われる建物の、1階がポスターならびに商業展示、2階・3階がオーラルの会場となっていました。一般演題数は2,622演題で、歯科基礎・臨床はもとより歯学教育等に至る25の分野に大別されており、本学からは教育部門で「Characteristics of Cavity Preparation under High Stress and Insufficient Education」また、歯科麻酔部門で「A Study of Intravenous Sedation with Dexmetomidine」、「Forehead Sensor Pulse Oximetry for Oral Surgery under General Anesthesia」、「An Analysis of 155 Cases of Cardiopulmonary Arrest in Dentistry」さらにインプラント部門で「Finite Element Analysis of Dental Implant Using Gap Elements」の5演題の発表があり、それぞれ活発な討論がなされました。

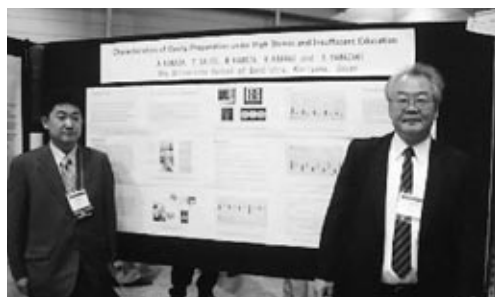
IADR は1924年に結成されており、国際学会としては長い歴史があって、各国より多くの研究者が参加されています。このような歴史ある国際学会に参加し、他国の研究者と触れあうことができたことは、誠に有意義でありました。今後も IADR に多数の演題をエントリーして、若手の研究者を育てていきたいと考えています。

(鎌田 政善)

第35回米国老化学会年会

6月2日(金) から5日(月) までの4日間にわたり、マサチューセッツ州ボストンにおいて第35回米国老化学会年会が開催されました。会場となった Tufts University はボストンのダウNTOWNに位置し、老化研究が盛んにおこなわれている大学のひとつです。大会のテーマは“Interventions in Aging and Age-Related Diseases: The Present and The Future”であり、様々な最新の研究成果の発表がおこなわれました。まず、今注目を浴びているカロリー制限による老化抑制の可能性について、ショウジョウバエ、線虫からヒトに至るまで幅広く論じられました。さらに、老化基礎研究の最近の進歩として、情報伝達物質としての酸化ストレスの役割、ミトコンドリアの酸化ストレスと老化、老化による骨格筋量減少の機序とホルモン・薬物・栄養・運動などによる治療効果、骨粗鬆症、脂肪細胞と炎症、脳の老化における PLC、PKC 等のシグナルタンパク質と CREB の役割などについて発表がおこなわれました。国立長寿研究所の元所長である木谷健一博士は Hayflick Award を受賞され、“What Really Decline With Age”と題して講演されました。また、3日目の Awards Luncheon では若手の優秀な研究や発表に対していくつかの賞が授与されましたが、女性研究者の活躍が目立ちました。駆け足のスケジュールで時差に悩まされながらも新鮮な情報に触れることができ、非常に有意義な時間となりました。

(石幡 明)



第14回国際動脈硬化シンポジウム

薬学部疾患薬理・臨床内科学担当の衛藤です。この度、6月18日(日)から22日(木)にイタリア・ローマ市で開催された第14回国際動脈硬化シンポジウムに参加し、演題発表をしました。1つは「日本人Ⅲ型高脂血症では糖尿病の合併が多く、冠動脈硬化の発症頻度が高い」という演題です。もう1つは「APO E4遺伝子を有する糖尿病患者は食事療法に対するコレステロール低下反応がよく、降脂剤（スタチン）適用の際はこれを考慮する必要がある」という演題です。いずれも私どもが見出した新知見であり、これまでの研究成果のまとめでもあり、このような国際学会の場で発表し意見交換する機会を得たことはまことに有意義であったと思っています。

また、世界最古といわれる薬局の元祖であるサンタ・マリア・ノヴェッラ薬局（写真）を見学してきました。13世紀にドミニコ修道士らが殺菌剤としてバラ香水を販売したのが最初のことです。荘厳で重々しく、歴史を感じました。

（衛藤 雅昭）



第41回奥羽大学歯学会

6月17日(土)に第2講義棟で第41回奥羽大学歯学会が開催された。基礎的なテーマから臨床に直結する研究、さらには歯学教育に関するものまで多くの発表があった。その中には歯学部4年生の小平杏子さんと岡田萌さんの「実験的嚥下性肺炎のマウスモデルによる検討」という演題もあった。これは、2人が放課後や休日を利用して自主的におこなった研究成果をまとめたものである。彼女らの発表に対しては多くの参加者から激励の拍手が送られた。最近、国内外の歯科関係の学会では学生が演者として発表することがありふれた光景になっている。将来の研究者育成の面からも、学生の積極的な本学会に対する参加が望まれる。当日は本年度の評議員会と総会も開催された。次回は、11月4日(土)に開催予定である。優れた研究成果が発表されることを期待したい。

（清浦 有祐）



奥羽大学文学会第48回発表会

去る7月13日(木) 16時40分から17時45分まで本年度第1回目の文学会発表会が5号館537教室で行われた。発表者は南鉄男教授（専門分野：イギリス文学、とくにディケンズ研究）で、演題は「チャールズ・ディケンズ：社会風刺の構図」であった。

ディケンズは自ら子ども時代に経験した貧困層の生活体験をもとに、当時の特権階級が牛耳る社会組織に対して強く疑義を感じるようになった。その後、社会の各方面に目を向け、経済制度、法制度、教育制度、名ばかり

の救貧制度などの問題点をつぶさに目にするに及んで、これらを鋭い風刺の形で数々の作品にまとめ上げ、多くの読者を獲得した。ただし、産業革命後の時代の流れについての認識は乏しく、指摘された問題点についての解決策は何ら提案されていないようだ。

発表後、質疑応答の時間もフルに使い、ディケンズの社会意識・情緒性などについて活発な意見交換が行われた。

(早坂 高則)

歯学部父兄会「地域会」

歯学部父兄会の地域会は6月3日(土) 東京会場を皮切りに、全国4カ所で行われた。東京92名、大阪59名、仙台25名、福岡55名のご父兄が参加され、参加総数は昨年度より11名の増加がみられた。東京会場での全体懇談会では、父兄会代表挨拶、学長挨拶、学部長挨拶の後、学生部長より本年度の大学の課題、大学の現況、学生生活に関して、また各学年主任から学年ごとの教育方針についての説明が行われた。東京を除く3会場では、さらに、ご父兄の自己紹介と子弟について感ずるところを話してもらう時間の余裕があり、ご父兄同士共感する点や問題点について意見を交換し、認識を深めることができた。

個別面談では各会場とも、ご父兄から出席状況、成績、学生生活などについて熱心な質問がなされ、面談時間が短く感じられた。懇親会は各会場とも、うち解けた雰囲気の中でご父兄の本音を聞くことができ、また個別面談で話し足りなかった分も補うことができ有意義であった。

(鈴木 陽典)



交通安全講習会

6月15日(木) 午後5時30分より、記念講堂において、交通安全講習会が開催された。鈴木陽典歯学部学生部長の挨拶に続いて、郡山北警察署から講師としてお越しいただいた井上誠一交通課課長の講演があった。交通事故は他人ごとではなく誰にでも起こりうるものであり、特に速度が速いと避けられる事故も避けられなくなることが多い。日頃から車輛の運転時には速度に十分注意して欲しいとの話であった。



(文) 就職“HONKI”セミナー

福島県内の私立5大学が共同主催する、2006年就職“HONKI”セミナーが5月11日(木)に市内ビッグパレットで開催された。当日は約630名の大学生らが参加し、130を超える企業や団体の人事担当者との面談に臨んだ。

本学からは、文学部4年生のほぼ半数が会場を訪れ、希望する企業の担当者と熱心に言葉を交えていた。自分の進路はみずからのみが決めえる。学生の諸君には、今後も積極的な活動を期待したい。



(文) 東北地区私立大学就職セミナー

さる7月6日(木)、大学が準備してくださったバスとホテルでの昼食を利用して、仙台サンプラザで開催された標記セミナーに文学部4年生19名が参加してきました。東北地区に本社、事業所がある企業119社が集まるなか、25校に及んだ大学の学生たちに混じって、皆、真剣な表情でそれぞれの説明に耳を傾けていました。来春までには全員が正社員としての働き口を手にしてほしいとの思いを改めて強くした次第です。皆の健闘を祈ります。

(榊原 直文)

**(歯) 臨床研修マッチング説明会**

平成19年度の本学国家試験受験予定者を対象に、マッチング説明会が7月5日(水)の16時40分から実施された。学年主任(鎌田教授)より概要の説明がなされ、出席者一人一人に学籍番号とマッチング参加用ID / パスワードが手渡された。学生課から「マッチングの手引き(参加者用)」「管理型歯科医師臨床研修施設試験予定表」「第100回歯科医師国家試験日程」および「国家試験受験用証明書交付願」の配布と説明がなされた。続いて歯科医師臨床研修プログラム委員会(高橋教授)より、マッチングで使用するメールアドレスに関する説明とその登録説明日の案内があり終了となった。

(高橋 和裕)

(薬) キャリアガイダンス**<第1回ランチョンセミナー>**

6月21日(水)

講 師：トライアドジャパン(株)

かもめ薬局北里健康館

薬局長 竹内 尚子氏

テーマ：「調剤薬局に求められる人材」

調剤薬局の現状および薬局側が求めている人材像を中心として短い時間ではありましたが、現場の状況を非常に分かり易く講演していただきました。

本学部学生の中心的な就職先となることが予想される調剤薬局がテーマであったこともあり、定員一杯の80名の参加となりました。予想をはるかに上回る薬剤師業務の多さとそれに伴う自己啓発の必要性が説明されると、驚きを隠せない表情で参加者全員普段にも増して熱心に聴講しており、有用な情報源になったものと思われます。

(岩木 和夫)

**<第2回ランチョンセミナー>**

6月28日(水)

講 師：福島県保健福祉部

健康衛生領域業務グループ

専門薬剤技師 木村 隆弘氏

テーマ：「行政薬剤師の業務について」

行政薬剤師とは、公務員として厚生労働省や地域の保健所、試験研究機関などで行政の仕事に携わる薬剤師のことである。普段あまりなじみのないこの行政薬剤師の実際の仕事の内容や、仕事の魅力、苦労話などについてエピソードを交えた具体的な話があり、参加

した学生は皆熱心に講演に聴き入っていた。
この講演を機会に、行政薬剤師の仕事にやり
がいと魅力を感じ、一人でも多くの学生が公
務員試験にチャレンジしてくれることを願う。

(堀江 均)

＜第3回ランチョンセミナー＞

7月5日(水)

講師：(株)ツムラ郡山営業所

医薬情報担当課長

栗村 芳之氏

テーマ：「製薬会社の現場から一言」

製薬会社の現状として、大手企業の合併問題、外資系、専門メーカー、ジェネリック医薬品メーカー等の差異や現状を説明し、これら企業の中で最も多い薬剤師がする仕事として研究、開発、学術（本社、営業所）、MR（医薬品情報担当者）、営業所の管理薬剤師などがある事を分かりやすく説明された。さらに最も薬剤師が多いMRについて、自分のMRとしての経験から、MR業務、特に昔プロパーと呼ばれた時代から現在のMRとの違いやMRには学術情報を医師に説明出来る知識やコミュニケーション力などが要求され、かつMR認定証が必要で、認定試験の対応など説明された。特にMRの一日と題されて、現実のMR活動を朝から夜まで経時的に示され、学生には実際の業務が良く理解出来た。

後半では給与、有休の消化率、福利厚生施設などから始まり、売上未達成の時、昇給昇進などの最も学生が知りたい現実的な話があり、学生は真剣に聞き入っていた。

最後に、営業所の3年目の女性MRも講演に参加され、自分の職種選択の理由、現在の職種として女性が向くかなどを話された。講演後7～8人の女子学生から個人的な質問が続出し、極めて好評であった。

栗村氏からMRの本分は、「患者の喜びは、Drの喜び。それは、製薬メーカーの喜び。」この言葉には、学生、教職員ともに感動した。

(藤井 祐一)

学友会活動記録

○バスケットボール部

5月4日(木)～6日(土)

北日本デンタル大会

奥羽大学体育館

男子優勝

女子準優勝

5月14日(日)～21日(日)

南奥羽バスケットボール大会

山形短期大学 体育館

男子ベスト8

○バドミントン部

6月3日(土)～4日(日)

東北歯科バドミントン選手権

須賀川アリーナ、サンフレッシュ郡山

男子団体歯学部4位

女子団体歯学部4位

○卓球部

4月29日(土)～30日(日)

東北地区歯科学生卓球大会

新潟大学五十嵐キャンパス

男子団体優勝

個人優勝 黒木 毅 (歯6年)

個人ベスト8 金本 芳大 (歯4年)

重本 心平 (歯1年)

ダブルス3位 黒木・金本

○アーチェリー部

5月3日(水)～5日(金)

第38回東北学生アーチェリー王座決定戦

宮城県多賀城市 笠神公園運動場

男子団体8位

6月10日(土)～11日(日)

福島県学生アーチェリー選手権

三春貝山多目的運動場

50・30m ラウンド

男子2位 中池 祥浩 (歯6年)

4位 相澤 良太 (薬2年)

6位 山崎 崇秀 (歯2年)

8位 岩崎 隆行 (歯2年)

女子1位 日下恵里香 (薬2年)

2位 高橋 沙織 (薬2年)

3位 阿部 直子 (薬2年)

30・30mラウンド

男子1位 増田 晃一 (歯1年)

2位 和野 桂 (歯1年)

4位 臼田 真浩 (歯1年)

女子1位 中舘 満恵 (薬2年)

7月8日(土)～9日(日)

福島県総合体育大会

三春多目的広場

70mラウンド、50・30mラウンド

男子2位 柴原栄一郎 (歯4年)

70mラウンド

男子3位 山崎 崇秀 (歯2年)

50・30mラウンド

男子1位 好中 大雅 (歯2年)

30・30mラウンド

男子1位 岡田 将之 (歯1年)

男子2位 圓城寺良文 (歯1年)

○ラグビー部

5月27日(土)～28日(日)

オールメディカルセブンス

熊谷スポーツ文化公園内ラグビー場

ボウルトーナメント 準優勝

○バレーボール部

4月28日(金)～30日(日)

第29回東北バレーボール・大学男女南リーグ

東北文化大学、福島県立医科大学

男子4部3位 女子3部4位

○ゴルフ部

5月19日(金)～20日(土)

春季関東歯科大学ゴルフ対抗戦

ロックヒルゴルフクラブ

男子団体 準優勝

6月23日(金)～24日(土)

関東歯科学生ゴルフ5校対抗戦

那須野ヶ原カントリークラブ

男子団体 優勝

男子個人3位 正木 孝平 (歯2年)

女子個人3位 山城絵美子 (歯4年)



ゴルフ部 男子団体優勝

第38回全日本歯科学生総合体育大会夏期部門日程・会場

○硬式野球 8月1日(火)～6日(日)

成田市営大谷津球場・佐倉市岩名球場他

○準硬式野球 8月6日(日)～9日(水)

岩手県営野球場・滝沢総合公園野球場・

花巻球場 他

○硬式庭球 7月29日(土)～8月1日(火)

軽井沢町塩沢地区民宿テニスコート

○ソフトテニス 8月5日(土)～8日(火)

熊谷スポーツ文化公園 (くまがやドーム)

○サッカー 8月1日(火)～5日(土)

駒沢オリンピック公園総合運動場・

秋津総合運動公園内秋津サッカー場

○ゴルフ 8月2日(水)・3日(木)

東千葉カントリー倶楽部

○卓球 8月5日(土)～7日(月)

市川市スポーツセンター第1体育館

○バドミントン 8月7日(月)～11日(金)

船橋市総合体育館 (船橋アリーナ)

○バレーボール 8月6日(日)～9日(水)

千葉ポートアリーナ

○バスケットボール 8月2日(水)～6日(日)

日本大学理工学部船橋校舎スポーツホール他

○ボウリング 8月7日(月)～9日(水)

ハタボウリングセンター

○柔道 8月5日(土)・6日(日)

講道館

○剣道 8月5日(土)・6日(日)

浦安市運動公園総合体育館

○弓道 8月3日(木)・6日(日)

明治神宮至誠館弓道場

○空手道 7月30日(日)

日本大学歯科体育館

○少林寺拳法 7月30日(日)

東京歯科大学体育館

○日本拳法 8月5日(土)・6日(日)

日本大学歯科体育館

○アーチェリー 8月4日(金)～6日(日)

富岡総合公園

○陸上競技 8月6日(日)

駒沢オリンピック公園総合運動場

○水泳 8月2日(水)・3日(木)

千葉県国際総合水泳場

○ヨット 8月4日(金)～6日(日)

蒲郡海洋ヨットハーバー

○漕艇 8月10日(木)

福島県立荻野漕艇場

力もあり、大きな怪我もなく無事終わりました。

バレーボール1位 まきづめ VC

2位 102

3位 AND2

ソフトボール1位 リスキー (支店)、ヒロキック

3位 チームテニス部、ガーデン

フットサル 1位 リスキー

2位 ダイキアイ

3位 モーニングフットサル

(歯学部3年 奥野 直樹)



学長杯球技大会

今年度も学長杯球技大会を5月27日(土)・28日(日)の2日間にわたって開催し、無事終了することができました。今年は例年とは違い、初の3種目(バレー、フットサル、ソフトボール)を開催することになり、それぞれの種目に参加希望者が集まるかどうか不安でしたが、研修医や先生方、学年・学部を問わず多くの学生が参加、白熱した雰囲気、活気のある大会となりました。参加者のそれぞれがスポーツマンシップに則り、球技を楽しんだことと思います。

我々学友会としても、新しい組織になってから初めての大きな行事であったこともあり、大会を開催するにあたって手探りの状態でした。企画・進行などで詰めの甘い部分もあり、大会に支障をきたすのではないかと心配しましたが、学生課や参加チーム、競技審判に協力して頂いたサークルの皆さんのおかげでスムーズに進行することができました。

ただ1つ、2日目の28日(日)が雨天だったため、ソフトボールが途中で打ちきりになってしまったことが残念でしたが、参加チームの協



小・中学生本学施設訪問

6月7日(水)

浪江町立津島中学校2年生19名

6月15日(木)

行健第二小学校6年生50名、

小泉小学校6年生14名、

明健小学校6年生83名

引率教員9名 計156名

7月4日(火)

三春町立三春中学校3年生2名

7月12日(水)

郡山第二中学校3年生12名

以上の学校の生徒達が来校しました。

この訪問は、総合的な学習の時間「生き方」の授業として、そこで学ぶ学生の姿を自分の目で見ていろいろな学びを知ることが目的に行われた。生徒達にとっては初めての事ばかりで、学校の施設見学で膨大な蔵書に驚いたり、実習見学では普段の授業とは違う光景に戸惑ったりと、貴重な体験ができたようであった。薬剤師・歯科医師を目指す生徒が多く、短い時間ではあったがこの経験が少しでも生徒達の未来に繋がればと願っている。



大学院特別セミナー

6月23日(金) 大学院セミナーが、朝日大学歯学部教授明坂年隆氏を講師として迎え、「破骨細胞の biology ―形態学的アプローチに関する最近の動向」と題して開催された。

氏は、終始一貫、電子顕微鏡特殊技法を駆使して破骨細胞の超微形態を追求しているが、その仕事ぶりはいぶし銀の輝きをもった玄人好みといったところで、その分野では高い評価を受けている。その時々流行り廃りに右顧左眄することなく、自分が本当に興味を持ったこと、知りたいことについて、計画から論文作成に至る全ての行程を自らの手でコツコツと成し遂げていく研究態度にはまさに名工の趣がある。ただこの度の講演は、内容が高度に専門的であったことに加え、何事にも手を抜かない氏の性格も相まって、あるいは参加者の大半が理解できなかったかもしれない。しかしながら、講演を通じ氏の真摯な研究態度は十分に伝わり、身の丈に合った研究を続けているとの氏の言葉は、似通った研究環境にある本学の大学院生、教員にとってなかなか示唆的であり、この度の講演を意義あるものにした。

(山崎 章)



附属病院

自衛消防訓練

本年度第1回目の自衛消防訓練が6月22日(木) 午後3時より附属病院棟で実施された。

訓練に先立ち、中葉事務長より訓練目的および火災予防についての注意があり、引き続き防火管理者として、訓練の概要説明と訓練計画に基づく避難誘導等の説明があった。

訓練は、4階総合歯科診療室付近から火災が発生したという想定で、5階では救助袋による避難訓練、1階の非常警報設備室では火災通報装置による消防署への通報方法の説明が行われた。さらに、初期消火訓練として3名が消火栓を用いた放水を体験した。

最後に医事課の橋本主任より、いざという時は初期消火が大切であり、万が一の時のために日頃から火災に対して備えておきたい、との講評で訓練は終了した。



平成18年度第1回医療安全推進研修会

6月22日(木) 午後5時30分から臨床講義室にて研修会を実施した。本年から歯科医師臨床研修が義務化され、研修施設においても医療安全研修会が必要となった。参加者は臨床研修歯科医61名を含め、計233名と立ち席での研修であった。研修は医療安全推進委員会の委員が担当し「医療に係わる安全管理」「リスクマネジメント他大学と比較して」「医療事故情報の分析と報告に関する研修会参加報告」についてであった。

(齊藤 高弘)

夜間警備体制

7月1日(土)より歯学部附属病院において新しい警備体制で臨むことになりました。

附属病院には、1階・2階の出入り口のほか隣接している各棟(中央棟、基礎医学研究棟、第一講義棟)との連絡通路や非常出口など数箇所の出入り口から、教職員をはじめ学生が多数出入りしておりました。

医療機関における防犯対策の一つとして、このたび夜間の機械警備の整備と出入者の確認の徹底を図ることになりました。

機械警備の時間は、月曜日から土曜日が午後8時から翌日午前8時まで。日曜日・祝日・指定休日は24時間となります。

この時間帯の附属病院への出入り口は、1階の職員通用口一箇所となり、この時間帯に附属病院へ入る際には教職員・学生は、守衛室の警備員に身分証明書を呈示して入ることになります。又、外来者については、警備員に申し出て許可を受けていただきます。防犯体制の強化を図るため、各位のご理解とご協力をお願いいたします。

夜間・休日の電話対応

7月1日(土)から本学の代表電話が夜間及び休日について自動応答装置付となりました。

平日の午後8時以降と土曜日の午後5時以降は、次のアナウンスが流れます。

「本日の業務は終了しました。附属病院に急患の方は、フリーダイヤル0120-910-977におかけ直して下さいますようお願いいたします。」

また、日曜祝日・指定休日の午前8時30分から翌日午前8時30分までは、次のアナウンスが流れます。

「本日は休業日となっております。附属病院に急患の方は、フリーダイヤル0120-910-977におかけ直して下さいますようお願いいたします。」

以上のように業務時間終了後の外線からの電話の取次ぎはしないことになりましたので、ご不便をおかけすることとなりますが、

予めご了承願います。

なお、原則として、平日は午後5時から午後8時まで、土曜日は午後零時から午後5時までの附属病院への急患の電話は、4階の病棟に取次ぎます。ただし、各研究室等への電話の取次ぎは行いませんので、ダイヤルインをご利用ください。

藍綬褒章受章

春爛漫の4月28日(金)に、本学歯学部畑孝一教授が「公共の事業で事績著明な人に授与される」藍綬褒章を受章されました。現在会長職にある「福島県明るい選挙推進協議会」での活動が評価された由、ご同慶の至りです。協議会での畑教授の活躍は1973年以降30数年に及んでおり、この息の長さはその仕事が教授ご自身の社会改良意欲に裏打ちされていることを示されています。

畑教授は横浜市の出身で、横浜市大・一橋大大学院博士課程で学ばれた後、1967年から1997年まで福島大学で教鞭をとられました。その間に教育学部長の要職を果たされ、また新設の行政社会学部に移っては学部充実に尽力されました。気鋭の若手として、大学を支える中堅として、更に重鎮の一人としての活躍は顕著なものでありました。退官後は名誉教授になられ、1997年から2002年まで放送大学福島学習センター所長として生涯教育の一翼を担われました。

畑教授と本学との関わりは、1973年から実に30年にわたっており、非常勤講師として28年、専任教授としてこの2年、歯・文・薬の3学部で社会学を教えて来られました。教授の業績は数多く、最近では日本社会の都市化、人間関係における疎外・孤立化などに焦点を当てて警世的な論文を発表しておられます。教授はまた、知人ぞ知るこけし愛好家・蒐集家でもあります。敬愛する畑教授の受章に改めて祝意を表すると共に、今後のご活躍を祈念いたします。

(青木 義孝)

私が薦める一冊の本

『元気で長生きーやまいの予防とくすり』

(戸田 昇編著、メディカルレビュー社)

中国を初めて統一し、強大な権力を握った秦の始皇帝が、家来達に不老長寿の薬を探させた話は有名です。不老長寿とまではいなくても、健康で長生きしたいと誰もが願っています。幸い、世界保健機関(WHO)の報告では、日本人の平均寿命と平均健康寿命(寿命から健康でない期間を差し引いた寿命)は男女とも世界一です。しかし、この長寿国ニッポンにかけりが見え始めたと指摘する人もいます。その一例として、日本一の長寿県である沖縄の男性の平成12年の平均寿命がそれまでの4位から26位に転落し、「沖縄クライシス(沖縄の危機)」と騒がれ、関係者に衝撃を与えました。その背景には、ヘルシーな伝統食から欧米化した食事が好まれるという食生活の変化があるといわれています。

日本人はくすり好きな国民であるといわれて久しく、最近では、特定保健用食品がよく売れているようですが、これも健康で長生きしたいという願望の現れでしょう。本書は、「病気とその予防」、「くすりとかすりによる治療」について、各分野の第一人者や臨床家が一般市民向けの「やさしい健康講座」となるように書いたもので、平易で内容のある読み物に仕上がっています。健康志向の強い人のみならず、くすりのお世話になっている人にとっても役立つことでしょう。

内容のタイトルの一部を紹介しますと、病気に関しては、高血圧、狭心症と心筋梗塞のはなし、糖尿病と一生つきあうには、脳卒中とその予防、血管より老いる(動脈硬化)、生活習慣病の予防ーライフスタイルの改善、痴呆は予防できるか治せるか、胃かいようーその原因とくすり、転ばぬ先の用心ー骨粗鬆症の予防と治療、うつ病ー増加をたどる現代病、緑内障ーほおっておくと失明する、アトピー性皮膚炎とその対策、歯は健康のもとー80歳20本運動のめざすもの、という内容です。くすりに関しては、くすりー生かすもころす

も貴方しだい、くすりのさじ加減はなぜ必要かー飲み合わせによる有害作用、創薬ー夢のくすりとのくすり、不老長寿のくすり、など。その他、いわゆる健康食品、タバコと酒ー健康への提言、犯罪に使われた毒物たち、に関するものもあります。各章の終りに、その章のまとめとして、養生訓のようなものやくすりの正しい使い方が書かれていますので、そこを拾い読みするのもいいでしょう。最後に、「錠剤やカプセルにはどういう意味がありますか」、「お年寄りがくすりを飲むときにはどんな注意がいらいますか」、「くすりの味はなぜ苦い？」など、くすりに関する25の質問とそれに対する回答も載っており大変参考になります。

本書のタイトルである「元気で長生き」するためにはどうしたら良いのか、読み終わったところでその答が出ているはずです。是非一読されることをお勧めします。

(高田 芳伸)

余 滴

“アンドロロジー”考

「アンドロロジー」という言葉をお聞きになつてその意味を理解していただける方がどのくらいおいでになるのでしょうか。アンドロロジー (andrology) とは耳慣れない、舌を噛みそうな言葉ですが、日本語では「男性学」(gynecology: 婦人科学に対する医学用語) に相当し、具体的には男性不妊症、前立腺疾患、男性更年期、性機能、性分化異常、性差医学についての研究、診療が主たるものとなります。国際的には、泌尿器科の中の一分野として存在するケースが多いのですが、ヨーロッパや中国ではアンドロロジー科 (中国語表記では男科) として独立している場合もあります。

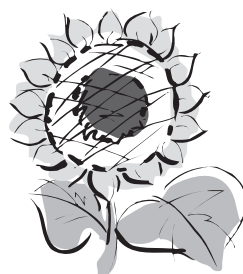
先に述べたように男性の誕生から老年に至るまでの幅広い期間を臨床医学として扱うこととなりますので、関連する臨床科も泌尿器科学のみならず、皮膚科学、内科学、小児科学、産婦人科学にわたっており、その病態の

解明や治療法の開発を目指して臨床医が参画しており、一方、基礎科目も同様に幅広く、生物学、薬学、解剖学、病理学、獣医・畜産学から研究者が参加しています。

我が国における研究は比較的古くから始まっており、今から35年前には研究会が発足し、その後日本アンドロロジー学会となり本年25周年の記念学会が開かれました。私は、薬学 (衛生化学) を専門としていますが、予防医学・公衆衛生学の観点から雄性生殖生物学に関する研究も進めており、日本アンドロロジー学会にも第1回から参加してきました。現在、性差医学の観点から女性専門外来が設置されている医療機関が、女性に合わせた薬物療法を実施されている例があることはご承知の通りです。

今後、少子高齢化社会が進展しますので、女性のみならず、男性においてもその性の特異性に基づいた医療が求められることになるでしょう。それにはアンドロロジーの進歩が社会的要請であろうと考えます。まだ、なじみの薄い医学用語ですが、今後、広く知られる可能性の高い用語ですので、この機会にご紹介いたしました。

(押尾 茂)



同 窓 会

歯学部同窓会

同窓の皆様におかれましては、元氣でご活躍のこととお慶び申し上げます。

九州連合支部は昭和59年に有志9名によって発足し、一昨年無事20周年祝賀会を開催することができました。これは、支部会員のみなならず同窓会本部、全国各支部のご指導あったのことに感謝致しております。おかげ様で、現在（沖縄県を除く）九州7県と山口県で約120名（若干名現住所不明のため）の大きな支部に成長しました。年1回の支部総会・学術講演（福岡）と、各県持ち回りの九州歯科医学会担当県での懇親会を基本に活動しております。会員数が多くなり、単独で懇親会などを行っている県もありますが、九州は1つの気持ちでまとまっておりますので、今しばらく連合の形態のままと考えております。

20周年を終え、新たな支部作りに取り組まなくてはならない時期でもあります。最近では会に若い先生方の出席も多くなり、又、独自に勉強会等も開催している様子がたくましい限りです。将来、支部の運営を引き継いでくれるものと楽しみにしているところです。今後の課題ですが、これは同窓会全体の課題でもある名簿の確保であります。学生の九州人会への支部からの積極的な参加、又、現在6名在籍しております会員の子弟の協力を得ながら何とか名簿の整理をと考えております。

卒後研修等の後、地元へ帰られる卒業生には是非とも私なり、各県担当理事へ一報をいただきたいと願っております。

最後に、同窓会の益々の発展を祈念申し上げます。九州連合支部の現況報告とさせていただきます。

（九州連合支部支部長 川村 浩之）

同窓生のひろば



深井 直樹

（歯学部10期生）

卒業後広島に戻り、広島大学歯学部口腔外科でお世話になりながらたまに実家の手伝いの日々の中、年に二度開催される全国歯科大学広島県支部長会へ参加させていただくこと数年間。恥ずかしながら、各大学の諸先生方が支部長、副支部長、専務理事と三方おそろいのご挨拶。自分の順番が回ってくるのが気恥ずかしくもいよいよ出番の到来、一人で壇上に立つものの支部の活動報告など皆無に等しい始末、参加の会費も当然自腹で折角もらった領収書も現金に換えるすべもなしの状態。しかしながら月日の流れは大変頼もしい状況へと変化し、現在では壇上に3名が立ち並び支部の報告もそこそこ形になり、何より参加費も支部より出していただけるだけではなく、さらには同会の幹事校までさせていただくまでに立派な大人に成長？いたしました。

また同窓会本部との連携をとる上で重要な組織作りの一環として長年の課題であった中国ブロックとしての活動も、僭越ながら広島をひとつのコアとしてその基盤も少しながら出来つつあると感じています。現在は各県の、同窓の先生方とも連絡網を設置し更なるブロックとしての活動範囲を広げていこうと考えているところです。この間、広島での全歯懇の開催などを含め数度にわたり同窓会本部の役員の先生方、また大学より学部長をはじめ、教授の先生方にも多数ご来頂き、ブロックの先生方とともに瀬戸内の料理と懐かしい顔を囲んでの楽しいひとときを過ごすことが出来るようになってきました。

私事ですが、現在診療している複数の医院に本学の後輩が2名勤務してくれており、ここに来て改めて同窓の意味を深く考えさせられる機会が多くなってきました。同じ窓から

の景色を一時期共有した者として場所が変わろうと、時間経過があろうとひとつの仲間として共通点を持つことができるのは実は非常に幸せなことではないだろうかと思っております。勤務してくれている2名の後輩たちが他大学卒で仕事をお任せしている先生方よりかわいく思えるのはそんな理由があるからかもしれません。

しかし残念ながらすべての方が同窓会活動を理解して下さってはいないのも現実です。歯学部同窓会としての方向性が複雑であり、その役割も複数の指向性を持つためかもしれません。一人でも多くの方が賛同していただけるような努力をみんなで模索できればと考えています。同窓の仲間に助けてもらった、保険に関するいい資料が回ってきた、など動機は単純なものほど同窓会再認識の引き金になるのではないのでしょうか。創っていく者、参加する者が分け隔てなく一線上に並び、同じ目線で会の目的を認識できればいいのかもしれない。

何よりひとりぼっちは寂しいですからね。



古市 真弓

(仏文科4期生)

「今日は、全員手を挙げるのでかんだいします。かんだい。い。」

これは、給食を食べる前の一コマです。もちろん、牛乳でかんだいします。みんなで今日よくできたことに対して、「よかったね。」という意味をこめ、係の子が進んで行きます。

そう。ナント!! 現在、私は1年生17名の担任として小学校に勤務しています。毎日、元気あふれる子ども達とともにがんばっています。

大学を卒業してから、小学校1種の免許を取りました。その道のりは、長かったですが今こうして、担任を任せていただけるようになり、なんとか奮闘してきてよかったと感じるこの頃です。

今年は、初めて1年生を受け持つことになり、驚きととまどいの連続です。これまでは、上学年を担当することが多く、自分達である程度動いてくれる人達を相手にしてきました。しかし、今年はそういう訳には、いきません。大げさに言うと、箸の上げおろしまで、1つ1つ指示をして、やっと全員で事を進めることができます。それが、全てにおいてなので、当初は困惑しました。しかし、今ではすっかり学校になじみ、学習に一生懸命取り組む1年生から反対に励まされているように思います。

大学を卒業して、10年が経ちます。大学では、フランス語を学び、随分と畑違いな仕事に就いたものだと、自分でも思います。けれど、今でもフランス語を見かけたり、耳にしたりする度に（意味が分かるかは別として…）うれしくなります。

私がフランス語を学んで楽しかったように、「学ぶ楽しさ」を伝えることができれば、それこそ「かんだい」です。そんな日を夢見て日々努力していきたいと思います。

—福島県中島村立吉子川小学校 勤務—

 キャンパス見学会

8月25日(金)・26日(土)の2日間、9:00より
平成19年度入試に向けたキャンパス見学会を
開催する。

当日は、歯学部・薬学部の個別進学相談や
実習体験等が行われる。

なお、日程は次のとおり。

日 時：平成18年8月25日(金)・26日(土)

9:00～12:00

会 場：本学 5号館513教室、523教室

(受付：5号館1階ロビー)

※事前予約不要、入退場自由

※保護者同伴歓迎！

※2日間とも同じ内容で実施する

時 間	歯 学 部	薬 学 部
9:00～ 12:00	個別進学相談会 1階 513教室	個別進学相談会 2階 523教室
10:00～ 10:30	キャンパス見学	キャンパス見学
11:00～ 11:30	実習体験 ・シミュレーション実習体験 「コンピュータによる歯科医師体験」 中央棟4階	実習体験 ・7月25日 漢方薬を作ってみよう(藤井助教授) ・8月25日 薬剤師を体験する(東海林教授) ・8月26日 化学反応による発光現象とその薬学への 応用(岩木講師) 1号館
11:00～ 12:00	学食無料体験：カフェテリア『メモリー』	

 第15回奥羽大学公開講座

本学では、毎年生涯学習の一環として、専
任のスタッフによる公開講座を開催しています。

この秋、みなさんお誘いあわせの上、ぜひ
お越しください。

○メインテーマ

『高齢社会を健康に過ごすために』

○日 時

8月26日(土)・9月9日(土)・30日(土)・10月14日(土)

開場 9:00～

前半 9:30～10:30 (60分)

休憩 10:30～10:45 (15分)

後半 10:45～11:45 (60分)

○会 場

本学 5号館513教室

※8/26(土)のみ514教室

○受講費 無料

○対象者 どなたでも参加できます。

※予約不要

○定 員

約176名(定員になり次第、入場
を制限します。)

○問合せ

学事部 教務課

期 日	講 師・テーマ
1回目 8/26(土)	鎌田 政善 歯学部教授 歯科からみた高齢者の健康とは
	東海林 徹 薬学部教授 高齢者とクスリの効き目
2回目 9/9(土)	山森 徹雄 歯学部助教授 「嚙む」と認知症
	石幡 明 薬学部教授 メタボリックシンドロームと老化
3回目 9/30(土)	宗形 芳英 歯学部助教授 お口からはじめる老化防止
	曾根 孝範 薬学部教授 老化防止の薬はできるか？
4回目 10/14(土)	佐藤 純 歯学部助教授 食事を美味しく食べるために
	荒井裕一朗 薬学部教授 ボケを防止するために

平成18年度後期進学相談会日程

8月21日(月)	13:00～ 16:00	さいたま	大宮ソニックシティ
22日(火)	13:00～ 16:00	横 浜	横浜新都市ビル (そごう)
9月1日(金)	13:00～ 17:00	千 葉	ペリエ (千葉駅ビル)
4日(月)	15:00～ 18:30	甲 府	ベルクラシック甲府
	15:00～ 18:30	秋 田	ホテルメトロポリタン秋田
5日(火)	15:00～ 18:30	松 本	ホテルブエナビスタ
	15:00～ 18:30	盛 岡	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
6日(水)	15:00～ 18:30	長 野	ホテルメトロポリタン長野
	15:00～ 18:00	浜 松	アクトシティ浜松
7日(木)	14:30～ 18:00	宇都宮	マロニエプラザ
	15:00～ 18:30	山 形	山形テルサ
	15:00～ 18:00	静 岡	ホテルアソシア静岡ターミナル
8日(金)	15:00～ 18:30	仙 台	仙台サンプラザ
	15:00～ 18:00	沼 津	キラメッセぬまづ
11日(月)	15:00～ 18:30	福 島	ホテル福島グリーンパレス
12日(火)	15:00～ 18:30	郡 山	郡山ビューホテルアネックス
13日(水)	15:00～ 18:00	長 岡	ホテルニューオータニ長岡
14日(木)	15:00～ 18:30	新 潟	ホテル新潟
15日(金)	15:00～ 18:30	高 崎	高崎サンパレス
20日(水)	15:00～ 18:30	水 戸	水戸プラザホテル
30日(土)	13:00～ 17:00	大 阪	大阪城ホール
10月14日(土)	13:00～ 17:00	新 宿	新宿エルタワー
11月13日(月)	15:00～ 18:00	新 宿	新宿NSビル
14日(火)	15:00～ 18:00	千 葉	ペリエ (千葉駅ビル)
15日(水)	15:00～ 18:00	横 浜	横浜新都市ビル (そごう)
17日(金)	15:00～ 18:00	さいたま	大宮ソニックシティ

人 事

<採 用>

大河原四郎	技 術 係 長	総 務 部	6月1日付
本名 一美	看 護 師	看 護 部	〃
善積 知之	企画広報課長	事 務 局	6月2日付

<昇 格>

	旧	新	
古川 幸治	技 術 職 員 部	備品管理係長 総 務 部	7月1日付

<退 職>

岩田 教一	薬 剤 師	薬 局	4月30日付
遠藤 豪	事 務 職 員	総 務 部	5月31日付
三田 明	講 師	歯 学 部	6月30日付
甲賀 智絵	歯科衛生士	看 護 部	〃

慶 弔

<結 婚>

おめでとうございます。

○龍方 一朗	歯学部 助手	5月5日
○塚本 康巳	歯学部 助手	6月1日
○塚本 光	歯学部 助手	〃
(旧姓 森本)		
○影山 勝保	歯学部 助手	6月4日
○山崎 隆史	歯学部 助手	6月12日
○山崎知恵子	歯学部 助手	〃
(旧姓 中島)		

<訃 報>

謹んでお悔やみ申し上げます。

●歯学部 相澤 徳久		
実父 相澤 徳雄 (69歳)		6月25日

行事予定

平成18年

7月 July	8月 August	9月 September
3(月) ～10(月) ⑤学位論文申請受付 5(水) ⑤キャリアガイダンス (2年) 8(土) ⑤地域会 (福岡) 14(金) ⑤前期授業終了 ⑤工場見学 (1年) 18(火) ⑤キャリアガイダンス 「職業適性検査」(2年) 18(火) ～24(月) ⑤前期定期試験 20(木) ⑤インターンシップ 事前指導 (2年) 21(金) ⑤公務員ガイダンス 24(月) ⑤前期授業終了 (6年) ⑤前期授業終了 25(火) キャンパス見学会 25(火) ～27(木) ⑤集中講義 ～8/7(月) ⑤前期定期試験 (6年) 25(火) ～8/31(木) ⑤夏季休業 26(水) ⑤学位記授与式 26(水) ～8/5(土) ⑤前期定期試験 27(木) ⑤月曜日の振替授業・前 期授業終了 (1～4年) 28(金) ～8/10(木) ⑤特別指導期間 28(金) ～8/31(木) ⑤夏季休業 (1～4年)	6(日) ～20(日) ⑤夏季休業 (5年) 7(月) ～10(木) ⑤集中講義 7(月) ～9/18(月) ⑤夏季休業 8(火) ～22(火) ⑤夏季休業 (6年) 11(金) ～13(日) ⑤慶熙大学スポー ツ交流 12(土) ～17(木) 特別休業 21(月) ～23(水) ⑤集中講義 23(水) ～9/1(金) ⑤前期追・再試験 (6年) 24(木) ⑤大学院研究経過 発表会 (2・3年) 25(金) ～26(土) キャンパス見学会 26(土) 公開講座 30(水) ⑤再試験受験手続日 31(木) ⑤教育実習事後指導 31(木) ～9/9(土) ⑤再試験	1(金) ⑤後期授業開始 1(金) ～8(金) ⑤前期定期試験 (1～4年)、学位 論文申請受付開始 4(月) ⑤臨床総合講義開 始 (6年) 9(土) 公開講座 11(月) ～16(土) ⑤集中講義 15(金) ⑤インターンシップ 事後指導 (2年) 19(火) ⑤後期授業開始 20(水) ⑤HONKIセミナー (いわき会場) 20(水) ～22(金) ⑤前期追・再試験 (1～4年) 25(月) ⑤後期授業開始 (1～4年) 30(土) 公開講座

<委員会からのお知らせ>

本学報は、同窓生と在学生の保護者あてに送付しております。転居・住居表示の変更の場合は下記までご連絡くださるようお願いいたします。その際、お手数でも宛名シールの番号をご記入いただければ幸いです。なお、皆様からのご意見・ご感想をお寄せ下さい。

連絡先／奥羽大学 総務部 広報担当

奥羽大学報108号 (通算No.233) 平成18年7月15日発行

発行 奥 羽 大 学
学 報 編 集 委 員 会
委員長 清 水 秋 雄

〒963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1

電話 024 (932) 8931(代) FAX 024 (933) 7372

ホームページアドレス <http://www.ohu-u.ac.jp>

メールアドレス info@ohu-u.ac.jp